

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立本通小学校  
(和庄中学校区)

全国平均値との差

|                | 国語    | 算数   | 理科   |
|----------------|-------|------|------|
| 呉市教育振興基本計画〈指標〉 | +6.0  | +5.0 |      |
| 令和8年度          | -     | -    | -    |
| 令和7年度          | +1.2  | -4.0 | +3.9 |
| 令和6年度          | -4.7  | -7.4 | -    |
| 令和5年度          | +2.0  | +1.5 | -    |
| 令和4年度          | +10.4 | +8.8 | +8.7 |

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

|   |  |
|---|--|
| <p><b>国語</b></p> <p>言葉の特徴や使い方</p> <p>読むこと 情報の扱い方 我が国の言語文化 話すこと・聞くこと 書くこと</p> <p>本校 68%<br/>全国 66.8%<br/>県 69%</p> | <p><b>重点課題</b></p> <p>◎◇事実と感想，意見などとの関係を叙述を基に押さえ，文章全体の構成を捉えて要旨を把握することが課題である。<br/>(設問3二・(2))【読むこと】(平均正答率34.6%)</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎◇文章を読み，目的を意識して構成を捉え，筆者の主張や必要な情報(中心となる語や文)を丸で囲んだり，サイドラインを引いたりして視覚的に捉えた上で，決められた文量の中で要約する活動を設定する。<br/>国語科の学習のみならず，多くの文章に触れる機会を設け，語感や言葉の使い方に関する感覚を養う。(読書・長文読解等)</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎◇全国学力(設問3二(2))(第5・6学年2月)目標80%→結果95%<br/>◎R5全国学力(設問2二)(第5・6学年2月)目標80%→結果95%</p>   |
| <p><b>算数</b></p> <p>数と計算</p> <p>データの活用 図形 変化と関係 測定</p> <p>本校 54%<br/>全国 58%<br/>県 59%</p>                         | <p><b>重点課題</b></p> <p>◎基準量を1と捉えることができていない児童が70%いる。日常生活で「10%増量」「30%引き」などの百分率が用いられている場面において，基準量と比較量の2つの数量の関係を捉えることに課題がある。(設問4一4)【変化と関係】(平均正答率19.2%)<br/>◇日常生活で「10%増量」「30%引き」などの百分率が用いられている場面において，基準量と比較量の2つの数量の関係を捉えることに課題がある。(設問4一4)【変化と関係】<br/>◇図形における基本的な事柄を理解することに課題がある。【図形】</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎関係図とテープ図を使って割合，基準量，比較量の関係を視覚的に捉えさせるようにする。小数をかけた時の積の大きさの関係を割合の学習の時にも活用させるようにする。また，基準量を1と見る見方を使った単元の系統的な指導を行う。<br/>◇言葉と図，式を結び付けて考えを表現させることを積み重ねるとともに，既習の内容と統合・発展しながら数学的な見方・考え方を育むことを意識した授業を行う。<br/>◇問題を解く過程に注目し，自分がなぜこのように考えたのか説明する活動を設定する。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎◇全国学力(設問4一4)(第5.6学年，2月)目標80%→結果92%<br/>◎H28全国学力(A設問9一(2))(第5.6学年，2月)目標80%→結果92%<br/>◇全国学力(設問2一(4))(第5.6学年，2月)目標80%→結果92%</p> |
| <p><b>理科</b></p> <p>エネルギー 地球 粒子 生命</p> <p>本校 61%<br/>全国 57.1%<br/>県 59%</p>                                       | <p><b>重点課題</b></p> <p>◎◇アルミニウム，鉄，銅について電気を通すか，磁石に引き寄せられるかそれぞれの性質に当てはまるものを分類することに課題がある。(設問2(1))【エネルギー・粒子】(平均正答率15.4%)</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎第6学年「水よう液の性質」において塩酸から溶かしたアルミニウムを取り出す実験をする際に通電するかどうかを検証させる活動を設定する。また，3学年「じしゃくのふしぎ」の類似問題において，金属は電気を通すが，磁石に付くものは鉄のみであることを適切に指導する。<br/>◇基礎的な知識に関わる実験などの経験を重ねさせるとともに，新しい学習課題に取り組む際に，既習内容や生活経験をもとに結果を推測する習慣を身に付けさせる。また，単に知識として習得させるのではなく，学習内容を生活場面と結び付けて捉え，活用させるようにする。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎◇全国学力(設問2(1))目標80%→結果100%<br/>◎第3学年「じしゃくのふしぎ」類似問題(第3～6学年，2月)目標80%→結果96%</p>  |

【来年度に向けて】

- ・国語科の学習のみならず，多くの文章に触れる機会を設け，語感や言葉の使い方に関する感覚を養う。目的を意識して文章を読み，必要な情報を丸で囲んだり，サイドラインを引いたりして視覚的に捉えた上で，要旨を把握する活動を設定する。
- ・言葉と図，式を結び付けて考えを表現させることを積み重ねるとともに，既習の内容と統合・発展しながら数学的な見方・考え方を育むことを意識した授業を行う。
- ・児童一人一人の学力の状況を把握し，個別指導を充実させるとともに，A1型教材を活用して学力の定着を図る。